

～郷土史つづり～

その66 「カシワ林の調査(前編)」

文責
郷土史マスター
川内つづり



郷土史つづりでは、その 61 以降郷土史調査でのエピソードを紹介しています。今回は 2010 年に「カシワ林」の調査を始めた時のお話です。旧早来町の町木カシワの木は、2016 年その44「カシワについて」でも紹介しています。かつてカシワは、開拓期には町の貴重な資源でしたが、一度伐りつくされた歴史があります。しかし、今なお安平町内あちらこちらに林として存在し、冬に雪を積もらせた葉をぶら下げて立っている姿は、見慣れたふるさとの風景の一つでしょう。現在、町有林として保全されているカシワ林がありますが、それらも含めてどのように生き残り、復活したのでしょうか？そう興味を抱いた頃に出会った方が、カシワについて研究をされている H 農学博士です。インターネットで H 博士の論文をいくつか読むことができました。しかし、読解力に乏しい私は、H 博士に直接問い合わせをする事にしました。電話でやり取りの中、町の歴史とカシワの関係に興味を持って頂き、なんと札幌から遙々視察に来て下さることになったのです。博士のご都合の良い日に、早来駅で待ち合わせをしました。白いジープが到着し、降りてきた男性の格好は長靴、帽子、赤いジャンパー、そして長い顎鬚、私は間違いなく H 博士だと確信しました。短い挨拶を済ませた私たちは早速、富岡、遠浅方面のカシワ林を視察に向かいました。カシワ林に入るのは初めての事でした。歩き慣れた博士の後ろを追いかけるように進みました。立ち止まり、笹をかき分けてカシワの木の根元を観察しながら博士の話が始まり、私は聞き逃さないよう耳を傾けました。(後編につづく)

公民館図書室 新着図書のご案内

開室日 毎週火～日曜日 9時～17時
☎ 早来:22-3224、追分:25-2565

新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

【早来公民館】

〈一般書〉

テニスボールダイエット 女優やモデルのおうち習慣(KAORU)／すいません、金利ってなんですか？(小林 義嵩)／たちどまって考える(ヤマザキ マリ)／えにし屋春秋(あさの あつこ)／灯台からの響き(宮本 輝)

〈児童書〉

おとなになるのび太たちへ(藤子・F・不二雄)／こども SDGs なぜ SDGsが必要なのかかわかる本(秋山 宏次郎)／ランポーのオオカミ王(ウィリアム・グリル)／ねこふんじゃった(せな けいこ)／つるかめつるかめ(中脇 初枝)

【追分公民館】

〈一般書〉

新型コロナウイルスと私たちの社会 定点観測2020年前半(森 達也)／これからの男の子たちへ「男らしさ」から自由になるためのレッスン(太田 啓子)／ブルーピリオド 1(山口 つばさ)／チーム・オババ(乃南 アサ)／ブラックウェルに憧れて(南 杏子)

〈児童書〉

ふゆとみずのまほう こおり(片平 孝)／自分の力で肉を獲る 10歳から学ぶ狩猟の世界(千松 信也)／ロボット・イン・ザ・ファミリー(デボラ・インストール)／あ(谷川 俊太郎、広瀬 弦)／へんしん！おばけちゃん(ひらぎ みつえ)

図書室開室日 火～日曜日 9時～17時

※他にもたくさんのお本を揃えています。ぜひご利用ください。

今月の展示テーマ 「ゆく年 くる年」

「去年今年(こぞことし)貫く棒のごときもの」(高浜虚子)。「去年、今年と人は時間に区切りをつける。しかし、それは棒で貫かれたように絶とうと思っても絶つことのできないものである」、と時間の本質を詠んだ句であるとされています。「3密」「アベノマスク」、コロナで右往左往した2020年も暮れ。干支はねずみから牛にバトンタッチ。来る年がどうか明るい年になりますように、と心から願います。干支にちなんだ本や年末年始らしい本を展示します。

◆ 読み聞かせ 1月日程 ◆

◆ 読み聞かせ 1月日程 ◆	日 時	場 所
読み聞かせ ひまわり会	中止	-
読み聞かせ ありんこ会	1月23日(土) 14時30分～	ふれあい交流館「みなくる」
ブックスタート読み聞かせボランティア 赤ずきん	1月27日(水) 11時～	おいわけ子ども園子育て支援センター